



NEWS

VOL.
151

2010・7月発行

第46回体育祭 — テーマ — ～一光千輝～

平成22年5月22日(土)

好天に恵まれて始まった新校舎3度目の体育祭は成功裡に幕を閉じました。ここ2年なぎさ体育祭は、人工芝のグラウンドならではの種目への挑戦をしてきましたが、今年度は、中学3年生が新しい演技に取り組みました。3年男子による「集団行動」は118人の息をびったり合わせ、動きの一拳一投足にまで神経をとがらせて創り上げるものでした。特に最後の5段タワーの難易度は非常に高いものでしたが、見事に成功したチームが一つ出て、頂点の生徒が立ち上がった瞬間、会場全体が大きな感動に包まれました。

また今年度からの大きな改革として、体育祭の勝敗を紅白対抗一本に絞った事があります。これによって、紅組対白組という図式が確立されるとともに、各組の応援団の存在感が例年以上に増すこととなりました。

このように毎年新しい挑戦とともに少しずつ形を変えていく体育祭、来年もまた「なぎさ」らしさを求めて、進化していくことでしょう。



紅組団長 辻 龍希(Ⅲ-5)

今年の体育祭は自分にとって最高の思い出になりました。最初に紅組団長に選ばれたとき、自分がみんなをまとめられるのか心配でした。初めて応援団に入った自分がつとまるのか不安でした。でも、執行部のみんなが助けてくれ、かわいい後輩が支えてくれたおかげで、最高の体育祭にすることができました。途中、白組と仲違いしたこともあったけど、話し合いをして絆を深めることができました。この体育祭



で協力することと絆の大切さを学びました。みんなにも絆を大切にして、楽しい毎日を送ってもらいたいです。

白組団長 秋森 志野(Ⅲ-2)

最初はあこがれで団長をやっていたような気がしますが、みんなと一緒にやっていくうちに、人の上に立つことの大切さを身にしみて感じました。一生懸命頑張っている応援団のみんなを見てると中途半端で終わらせたくないという気持ちが強くなり、今までの人生で初めて本気で打ち込めるものができたと思います。副団長の光田さんは、私が自信をなくしたときや間違った方向へ走ってしまったときにいつも正しい意見をくれ陰から支えてくれました。本当に感謝しています。応援団なのに応援されて、みんなの優しさにこんなに助けられるとは思いませんでした。とてもいい経験になった体育祭でした。白組最高!!



CONTENTS

- 第46回体育祭 ————— 1
- 芸術鑑賞「古典芸能」 ————— 2
- 中2 ニューゼaland交換留学 ——— 3
- 中1 新入生オリエンテーション ——— 4
- 高I 新入生オリエンテーション ——— 4
- 遠足 ————— 4
- 夏休みの勉強法 ————— 5
- 未来を決めるこの一冊 ————— 5
- 日本がもし100人の村だったら ——— 5
- 新高校生徒会役員 ————— 6
- TOPICS ————— 6
- CLUB NEWS ————— 6

芸術鑑賞「古典芸能」

佐藤健作 in 安芸の宮島 千畳閣

平成22年5月11日(火) 中学生 16:05~17:25 高校生 18:25~19:45

今年度の芸術鑑賞は、国の重要文化財である宮島の千畳閣で和太鼓を鑑賞しました。個人所有世界最大の和太鼓「不二」を千畳閣に持ち込み、国の重要文化財の中で味わう太鼓は、心にまた違った響きを奏で、風を感じながら耳だけでなく五感で味わうことができました。

身を乗り出し、目を輝かせながら聞く生徒、リズムを取りながら聞く生徒など、様々なとらえ方で太鼓の音を楽しむことができました。交換留学中のバサデナ中学校の生徒も日本の文化に触れ、日本を知るとてもよい機会となり、さらに本校の生徒たちにとっても日本を再確認するよい機会となったことでしょう。



最初の、「チリーン、チリーン」という音で心臓がドキドキし始め、佐藤さんが出てきて柱のようなバチで、太鼓を叩いた時にはもう、周りが見えなくなり、友達の声も聞こえていませんでした。太鼓の「不二」の大きさには圧倒され、その太鼓の音は身体の芯まで響いていました。すばらしい音楽を聞かせてくださり本当にありがとうございました。 中学1年1組 原 彰吾



今回の公演を通じて、音楽は身体で表現するものだと感じました。佐藤さんたちが太鼓を叩いているとき、その音だけでなく、身体を動かしたり、手を動かすことで、太鼓の力強さや曲の雰囲気を出していたように見えました。そのおかげで、太鼓の演奏がより自分の体に響きました。今回の公演で感じたことは、自分のことにも活かそうです。私はピアノを習っているので、「身体で音楽を表現する」という、また新しい表現方法を使って、自分の表現力をもっと広げたいと思いました。 高校1年4組 宇野 早織



視聴覚ともに刺激されました。太鼓の音が、何か大きな生物の鼓動のように聞こえ、私の中では、その生物のざわめきや静けさを感じることができました。また、太鼓を叩いている人の影がとても趣深く、佐藤さんが不二を叩かれている時に、幾つもの影が千畳閣の柱にうつっているのに感動しました。今までの芸術鑑賞で最も感動しました。 高校2年1組 高田 結衣



「不二」は大きさもちろん大きかったが、僕はその「響き」に驚いた。最初に叩かれた一音は僕の中では音として聴こえず、何が起きたか分からない程だった。また、佐藤さんの腕や手首も、鞭のようになやかに動いていて、音が途絶える事なく続く様子は息を呑んだ。今まで僕は太鼓を脇役のように考えていたが、他のどの楽器にも出せない迫力を持っているのだと感じた。 中学3年5組 川原 裕司



中2 ニュージーランド交換留学

平成22年5月8日(土)～20日(木)

ニュージーランドのパサデナ中学校より20名の交換留学生が来校しました。パサデナ生たちは、華道や茶道を通じて日本文化を学び、高校生のガイドで宮島や平和公園を見学したり、生徒たちが企画した自主交流会で日本の遊びを習ったり、ゲームをしたりして親睦を深めました。また、週末はそれぞれのホストファミリーと共にいろいろな所へ出かけたりして日本を満喫したようです。

7月には本校の生徒が留学します。留学生たちは、再会できることの喜びと期待に胸をふくらませ、その日を待ち望んでいます。



数学でのグループ学習

ニュージーランドの交換留学を終えて僕はすごくパサデナ生と交流が深まりました。最初の頃は無口で一緒に行動したり遊んだりすることができなかったけど、残りの1週間でもかなりパサデナ生との関係が深まっていきました。僕の家に来て一番印象に残ったのは、向こうの方から積極的にこちらに話しかけてきたことです。Fraserは僕たちと友達になろうとしてどんどん話しかけてきました。だから僕は話が途切れないように一生懸命に彼と話しました。自分には兄弟がいないので本当の弟みたいでとても嬉しかったです。登校する時も最初は慣れなかったものの次第に会話が弾むようになり、毎日毎日学校に行く時間が楽しくてしょうがなかったです。もう1つ印象に残ったことは、日本の物にすごく興味を示していたことです。特に自動販売機の写真を撮ったりしてすごく興味を示していました。

僕は留学生を受け入れてすごく良かったと思っています。優しく接して一人ぼっちにならないように努力しました。そのせいか別れの時に泣いて別れるのを悲しんでくれました。7月には自分がニュージーランドに行くのでまたFraserに会うのをもとても楽しみにしています。

2年4組 田村 洗樹

「Hello! Caitlin」と最初に挨拶した時には、それまでほとんど会話ができなかった私が、「今日、楽しかった?」と話せるようになるとは思っていませんでした。彼女は来てから3日間泣き続けていて本当に困りました。なぐさめてあげたいけれど、なんて英語で話せばいいのかも分からない私は、本当に情けなかったです。3日目に学校で泣かれた時には、そんなに日本の家が不安なのか…と正直悲しくなりました。しかし、次の日からは「日本の学校って楽しい」とか「なんでこんなに自販機がいっぱいあるの?」とその日感じたことを話してくれるようになり、とても楽しかったです。私が必死に会話の本や辞書を見ながら話しかけると、相手も少しの日本語で返してくれて、とてもうれしく感じました。私がニュージーランドに行った時は、日本語で話しかけてくれないはずなので、これから発音などをしっかり覚えていこうと思います。自分の意思をはっきり言わないと、ホームステイ先の人も困るし、自分自身も困ってしまいます。そのためにも、1つでも多くの単語や英語を話さなければいけないと思いました。そして、私が一番心配していることは、食事や生活習慣など、戸惑う事が多くなるだろうという事です。そのような時にホームシックにならないよう、何よりもホストファミリーの方たちと打ち解けて、信頼関係を作ることが大切だと思いました。

2年5組 瀬川 穂乃佳



音楽の授業にて



心から願います

私は今回の留学生受け入れてたくさんのことを学び、そして成長することができた。Hannahが私の家に来た初日、なかなか話せなくて父に話をしてもらっていた私。そして、母にせかされ、いざ話しかけようと思うと、文章構成を考えて考えて発言していた。何度言ってもなかなか理解してくれなくて苦労したことも多々あった。しかし、日を重ねるうちに私からもHannahからも積極的に話しかけるようになった。質問の意味は分かっているのに、どう答えたらよいか英語が出てこず単語をつなぎながら伝えると、Hannahが一生懸命理解しようとしてくれたこと、ちゃんと英語が話せた時の喜びはとても大きかった。しっかり打ち解けて、ジョークを言ったり面白い行動をしたり、私の両親には遠慮して言えないことも言うてくれるようになった。一緒に過ごしていると、Hannahは私にしか見せない姿があることを知り、たった2週間でこんなにも仲良くなれるなんて思ってもみなかった。留学生を受け入れたことで、今まで以上に英語に興味を持つようになったし、何より家族みたいなかけがえのない友達もできた。夏にニュージーランドに行く頃には、きっと英語ができるようになって、Hannahと一生の友達になりたいと思う。

2年6組 梶山 久美子



一緒にうどんを作りました



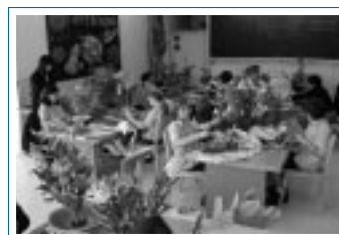
歓迎昼食会



歓迎会でハカを披露



体育では一緒に大縄をしました



心を落ち着けて

中1 新入生オリエンテーション

もみの木森林公園

平成22年4月13日(火)～15日(木)

中学1年生にとっては初めての行事となる新入生オリエンテーションが、もみの木森林公園で行われました。校長先生、副校長先生よりなぎさスタンプについてや、これからの成長には基本が大切だというお話をいただきました。体育館でのレクリエーションでは思いきり体を動かし、クラスの親睦を深めるとともに、一致団結することができました。オリエンテーリングでは班行動し、班長を中心に班で協力しゴールを目指しました。これらを通して中学校生活を充実させるためのヒントを見つけることができた2泊3日でした。



何のために学ぶのか真剣に意見を出しあいます。

私がオリゼミで学んだことは、「仲間の大切さ」、「自分で考えて行動する」とのことです。オリエンテーリングなどでは、班の仲間と協力する中で、誰かが遅れないようにみんなが気を遣い合い、行動できている仲間は大切だと思いました。

また、ひとを待たせることのないように「10分前行動・5分前集合」を心がけ、よく考えて行動することができました。時間をこまめに見て次に何をするのか、しっかり頭に入れておくことが必要だと思いました。なぎさの中学生として恥じないように心がけていきたいです。

1年5組 吉本 藍



オリエンテーリング
うまく渡れるかな？

高 I 新入生オリエンテーション

国立山口徳地青少年自然の家

平成22年4月13日(火)～15日(木)

広島なぎさ高校に入学して一週間経った4月13日～15日、広島なぎさ高校 I 年生は山口徳地青少年自然の家にて新入生オリエンテーションを行いました。

快晴の中、行った野外炊事では新しく出会った仲間たちと協力し、おいしいお昼ごはんをみんなで作り上げました。

マツダ株式会社技術研究所の福馬 勉さんの講演では、夢を持ち最後までやりきることの大切さを学びました。また自分たちの未来を創造する「未来計画」では、自分の考えた未来を現実にするためには、この3年間で何が必要かを考えました。

今回のオリエンテーションを通して、生徒たちは、3年後の輝かしい未来に向けて、決意を新たにしました。



福馬さん質問/福馬さん曰く、「成功の反対は失敗ではなく、何もしないこと」



野外炊事/ピザ生地をしっかりとこねて・・・

クラスメートと仲良くなれました。まだ少し距離はあるけれど、これから仲良くなるきっかけになりました。また勉強に対する気持ちが変わりました。高校は中学と同じようにはいかないということが先生の話からとても伝わりました。挑戦する意欲が強くなりました。

I年1組 向井 真帆

未来の目標を考えると今やらなければいけないことが見えてきました。「今度すればいい」というのは未来の自分を辛くさせる事だと分かりました。だから明日からではなく、今から変わらなければなりません。オリゼミは自分の心を変えました。

I年1組 高橋 かおり

遠足

平成22年4月14日(水)

中2 みよし風土記の丘



広島県立歴史民俗資料館にて、班別に調べ学習をしているところ



みよし風土記の丘内をウォークラリー中(高床倉庫の前にて)

中3 宮島弥山登山



晴天に恵まれ、遠足日和。美しい瀬戸内海を見下ろしながら弥山頂上の大岩で食べるお弁当は格別でした。

高II しまね海洋館アクアス



砂浜にて。4組による団結の木!

バックヤード見学。水槽を上からのぞいたり、餌の作り方を教えていただいたり、なかなかできない初めての体験を楽しんでいました。



高III 尾道市内散策



尾道を歩いて楽しい!



フォトコンテストも行いました。青空をバックに満開の桜と一緒に・・・

夏休みの勉強法

もうすぐ皆さんが待ちに待っている夏休みがやってきます。中学1年生にとっては、なぎさ中学校に入って初めての夏休みです。そこで今回は1年生のために、この夏休みを有意義なものにするための学習方法を紹介します。

国語

■毎日、適切な量の課題に取り組みましょう。

実力をつけるためには、自分が余裕を持ってできる課題に継続して取り組むことがとても大切です。それは集中してじっくり考える姿勢を養うことにもつながります。

■問題をよく考えて解き、答え合わせと直しをきちんとしましょう。

よく考えて問題を解くと、答え合わせが楽しくなります。さらに間違ったときには、なぜ「違うのか」が気になり、そこでよく考えるようになります。間違いの原因を理解し、克服したときには、すっきりとした気持ちになるとともに、実力もついているはずですよ。

■字を丁寧に書きましょう。

丁寧に取り組んだことは、揺るぎない実力となって自分に返ってきます。ただ「やる」のではなく、ゆとりとこだわりをもって「取り組み」ましょう。

■図書館や書店に通いましょう。新聞を読みましょう。

たくさん文章を読み、自分の語彙や考えを豊かにしましょう。日常生活でも国語の勉強はできるのです。

数学

夏休みには課題として『My Friend(課題帳)』が出されます。この課題帳をしっかりこなし、理解できなかった分野や苦手な問題をおさえていきましょう。1回やるだけでは、しっかりこなしたくちに入りません。ただ、分からなかった問題を「仕分け」しただけです。その問題を2回、3回と解き直し、得意な問題へと変えていきましょう。

また、この**夏休みの課題は、やっておかなければならない最低限のものです。**ただやっただけでは不十分で、自分が今すべきことは何なのかをしっかりと考え、決められた課題以外にも学習していく姿勢が重要なのです。

例えば、この課題をこなした際に、自分の苦手としている分野が見えてくるでしょう。その苦手な分野を体系問題集やチャートなど、「自分がこれ!と決めた問題集」を使ってしっかりと復習すれば、得意分野にすることも出来ます。苦手な分野の学習には時間がかかるものです。時間に余裕のある夏休みにこそ出来ることなのです。有意義な夏休みをしましょう。

英語

■毎日少しずつ宿題をしよう!

夏休みは宿題がたくさんあります。4月から学習したことを忘れないように毎日20分から30分ほど勉強するようにしてください。ぎりぎりになって1日か2日でやらないようにしましょう。

■単語は大事!

新しく習った単語を書き写して、それぞれの意味を辞書で引いて日本語で書いてください。また、単語を書く練習をして書けるようにしておきましょう。

■ゆっくりと時間をかけて学習しよう!

辞書やノート、プリントをみながら理解できるようにゆっくりとやりましょう。

■英語に触れよう!

映画、テレビ番組などを使ってどんどん英語に触れましょう。家族の人と英語で話してみよう。英語を聞き、話すことでもっと上達します。

■英語を書いてみよう!

英語を書いてみましょう。例えばペットの名前や、お兄さんやお姉さんの年、夏休みの予定、好きなサッカーチームや、カーブのいいところなど、皆さんについて英語の先生がよりよく知ることができるよう英語を書いてみましょう。

“Use it or lose it.”
「英語を毎日使わないと忘れてしまいますよ」

未来を決めるこの一冊 —— 夏読書のすすめ ——

高Ⅲ
対象



こんな大学で学びたい!
日本全国773校 探訪記
新潮社 山内 太地

高Ⅲの皆さんは第一志望の大学を選ぶ際、偏差値や全国的知名度を判断材料にした人が多いのではないのでしょうか。それも一つの方法ですが、では第二志望や第三志望の大学はどのように決めますか。意外とその判断材料に困っている人もいないのでしょうか。本書は大学の歴史や環境設備、就職支援といった偏差値にとらわれないその大学独自の取り組みを、著者が実際に歩き調べたものが掲載されています。勉強の合間に読んでみてはどうですか?

中3
対象



大学受験ナビ
15歳からの大学選び
小学館 石渡 嶺司

中3で大学選びなんて、と思うかもしれませんが、これから自分がどんな気持ちで進路を考えていけばいいか、という心構えを作る手助けになる一冊です。この本では、さまざまなタイプの高校生が登場して、いろんな理由で大学を選びます。失敗や成功、または思わぬ結果になる姿を見て、自分の進路のシミュレーションをすることができるでしょう。30歳になった時の現実、おススメの本など、いろんな情報とイラスト豊富で読みやすいこともポイント。まだうまく自分の将来を思い描けない人にこそおススメです。

「日本がもし100人の村だったら」に本校の授業がとりあげられました

「日本がもし100人の村だったら」(池上彰、マガジンハウス、2009年)に、本校の授業が「広島の高校では、人と人との絆のつくり方を学ぶ授業があります。」と紹介されています。これは、日本をよくしていくための活動の一つとして、「人間」「グローバル・ラーニング」「グローバル・シティズン」などが取り上げられたものです。あとがきでは、「広島市の鶴学園広島なぎさ中学高校の例。シチズンシップ教育を行っている。(読売新聞09年7月7日付より)」と説明されています。是非、読んでみてください。



新高校生徒会役員

はじめまして。今年度の高校生徒会長を務めさせていただくことになりました岡田櫻子です。これから、生徒会役員と共に協力して、なぎさをより活気があり魅力のある学校にしていきたいと思っています。また、生徒の皆さんの意見にも耳を傾け、学校を過ごしやすき場所にしていきたいです。精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願ひします。

会 長	岡田 櫻子 (II-4)	会 計	廣瀬 佳和 (II-4)	文化部長	江子 雄基 (II-4)
副 会 長	川本 歩 (I-2)		渡 紳太郎 (II-5)	運動部長	原山 大 (II-4)
書 記	岩本 真衣 (II-1)	会 計 監 査	紀 晶仁 (I-2)	風紀委員長	岡田 凌太 (II-4)
	吉田 朱里 (II-1)		田村 拓也 (II-4)	美化委員長	五島 泉 (II-1)

TOPICS

【高校軟式野球部】

今年度のチームは、投手力、打撃力、守備力とどれを取っても近年まれに見る安定感があります。その原因は、個々のプレーヤーが野球を心から楽しんでいるからではないでしょうか。ともすれば高校野球の世界は軍隊のような世界と思われがちです。しかし、現在のチームは試合中もベンチが明るく、自分たちで考えてのびのびとプレーしています。主体的に野球ができているところに今のチームの強さがあると思います。 顧問 畑中 輝



戦 績

【広島県大会予選】

- 3-0 広陵高校
- 4-1 崇徳高校

県大会出場決定

【広島県大会】

- 2-1 広大福山高校
- 5-2 県立広島高校
- 2-0 呉港高校

県大会優勝 中国大会出場

【高校硬式テニス部】

県総体団体戦にて57校が参加する中、念願の優勝を果たしました。この一年間は「走る」「球出し」といった基礎的な練習を大切に、また限られた時間・場所を無駄にしない練習内容を、部長を中心に考えてきました。本校には県内トップランキングの生徒達がいるため、負けれないプレッシャーがあります。昨秋の新人戦での敗北。個人競技の性格が強いテニスでも、団体戦では総合的なチーム力が問われます。これらの壁を乗り越えつかった今回の勝利は、3年生を中心に「自ら考え動く」集団へ変わろうとした、部員全員の力によるものだったと思います。 顧問 米倉 愛彦



CLUB NEWS

高校サッカー部

- 第63回広島県高等学校総合体育大会サッカーの部広島地区予選
日時:平成22年4月11日(日)・18日(日)・24日(土)
成績:予選リーグ2勝1分けでリーグ1位 県総体出場
- 第63回広島県高等学校総合体育大会サッカーの部
日時:平成22年5月29日(土)・30日(日)・6月6日(日)
成績:ベスト8

高校バドミントン部

- 平成22年度広島県高校総体広島地区予選会(バドミントンの部)
日時:平成22年4月17日(土)・18日(日)
成績:女子シングル
賀谷 友紀(III-2) ベスト16 県大会出場
女子ダブルス
植永 早美(II-5)・賀谷 友紀
ベスト16 県大会出場

高校硬式テニス部

- 第63回広島県高等学校総合体育大会
テニス競技(個人戦)広島地区予選
日時:平成22年4月17日(土)・18日(日)
成績:男子シングルス
山崎 遥平(III-3) 県総体出場
- 第63回広島県高等学校総合体育大会テニス競技(男子)
日時:平成22年6月5日(土)・6日(日)・12日(土)・13日(日)
成績:団体戦 優勝 インターハイ出場
個人戦 ダブルス
田鍋 光平(III-1)・小林 慶太(III-1) 中国大会出場
個人戦 シングルス
田鍋 光平 準優勝 インターハイ出場
小林 慶太 中国大会出場

高校軟式野球部

- 第55回春季広島県高等学校軟式野球大会
日時:平成22年4月24日(土)・25日(日)・5月1日(土)・2日(日)
成績:優勝(15年ぶり2回目)
第18回春季中国地区高等学校軟式野球大会に出場(5年ぶり)
- 第18回中国地区高等学校軟式野球大会
日時:平成22年6月12日(土)・13日(日)・14日(月)
成績:第3位

高校陸上部

- 第63回広島地区高等学校春季陸上競技選手権大会
兼広島県高等学校総合体育大会広島地区予選会
日時:平成22年5月7日(金)～9日(日)
成績:男子走り幅跳 長谷川 貴大(II-2) 第6位

高校剣道部

- 第56回中国高等学校剣道選手権大会広島県予選会
日時:平成22年5月8日(土)・9日(日)
成績:向井 望(II-2) 中国大会出場

中学サッカー部

- 平成22年度広島市中学校サッカー選手権大会
日時:平成22年4月18日(日)～5月8日(土)・16日(日)
成績:佐伯区第1位 市大会出場

中学陸上部

- 第44回織田幹雄記念国際陸上競技大会
日時:平成22年4月29日(金)
成績:男子100m 角山 巧(3-5) 第2位
池内 雅貴(3-2) 第4位
男子4×100mリレー
恵良 昂平(2-6)・池内 雅貴・角山 巧・椎原 尚也(3-5) 第1位
- 第36回広島地区中学校陸上競技大会
日時:平成22年5月29日(土)
成績:男子100m 池内 雅貴 第2位
角山 巧 第3位
男子200m 角山 巧 第2位
池内 雅貴 第3位
男子400m 河野 貴大(3-1) 第3位
男子1500m 河野 貴大 第2位
男子110mハードル 椎原 尚也 第6位
男子4×100mリレー
恵良・池内・角山・椎原 第1位
男子総合 第2位

●平成22年度広島市中学校陸上競技選手権大会

- 日時:平成22年6月12日(土)・13日(日)
- 成績:2年男子100m 恵良 昂平 第3位
3年男子100m 池内 雅貴 第1位
角山 巧 第3位
一部男子200m 池内 雅貴 第1位
角山 巧 第3位
一部男子400m 河野 貴大 第3位
一部男子800m 河野 貴大 第1位
一部男子4×100mリレー
恵良・池内・角山・椎原 第1位
二部男子200m 城本 将臣(2-4) 第1位
二部男子走幅跳 平岡 海人(3-3) 第3位
男子総合 優勝
2年女子100m 山田 桃(2-3) 第4位
3年女子100m 難波 未菜(3-1) 第8位
一部女子200m 難波 未菜 第6位
一部女子800m 森本 陽子(3-6) 第8位
一部女子1500m 森本 陽子 第6位

中学硬式テニス部

- 第37回全国中学生テニス選手権 広島県予選
日時:平成22年5月1日(土)～4日(火)
成績:男子団体戦 準優勝 中国大会出場
女子団体戦 第4位
男子個人戦シングルス
武久 翔悟(2-4) 第7位 中国大会出場
男子個人戦ダブルス
武久 翔悟・丸石 拓海(1-2) ヘア 第4位 中国大会出場
- 平成22年度 広島市中学校テニス選手権大会
日時:平成22年5月29日(土)・30日(日)
成績:男子団体戦 第3位

中学囲碁・将棋部

- 文部科学大臣杯第6回小・中学校将棋団体戦広島県大会
日時:平成22年6月20日(日)
成績:印平 菜南(2-6)・後中田 高也(2-2)・山田 桃(2-3)組 第3位